

平成23年度

心とからだの健康推進運動

9月1日 → 30日

健診で心に安心
からだに自信



主唱 公益社団法人 全国労働衛生団体連合会

後援 厚生労働省 中央労働災害防止協会

目標

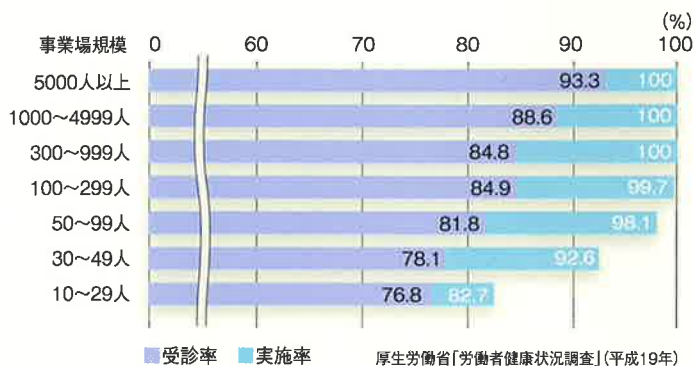
1

定期健診受診率の向上と 有所見率増加傾向に歯止め!!

事業場規模別健康診断実施状況

事業場規模が小さくなるに従い、健康診断受診率が低くなっています。10~29人規模事業場では、実に4人に1人が健康診断を受けていないという結果です。

年1回のせっかくの機会、仕事の都合をつけて何としても健康診断を受けたいものです。

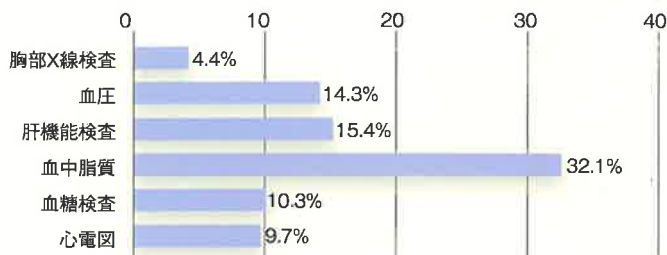


定期健康診断実施結果

働く人の2人に1人は健康診断で何らかの所見が認められています。血中脂質、肝機能、血圧が有所見御三家です。健診で所見が認められた方は、産業医・保健師等の専門家による事後指導を受けていただくとともに、自らの食生活、運動習慣等の生活習慣を見直すことが望まれます。

健康診断における
有所見率
(全体)
52.5%
(平成22年)

【健診項目別の有所見率】



目標

2

職場のメンタルヘルス対策 の推進!!

メンタルヘルス対策取組状況

メンタルヘルス対策に取り組む事業場は年々増加しています。国の第11次労働災害防止計画(平成20年度~24年度)においては、「計画期間中にメンタルヘルス対策実施事業場割合を50%以上にする。」という目標を掲げて対策を進めています。

メンタルヘルス対策に取り組む第一歩は現状の正確な把握です。全衛連は、「中災防ヘルスアドバイスサービス(メンタルヘルス版)」を活用してメンタルヘルスチェックを実施し、個々の労働者のストレスへの気づきの促進を行うとともに、事業場の職場ストレス環境改善の取り組みを支援しています。

心の健康対策に取り組んでいる事業場の割合 (全体)

平成14年 **23.5%** → 平成19年 **33.6%** → 平成22年 **50.4%**

(厚生労働省「労働者健康状況調査」)

【事業場規模別取組状況】

